

1. 科目名 (単位数)	心理学的支援法 (演習)	3. 科目番号	PSMP3151
2. 授業担当教員	山田 一子		
4. 授業形態	グループ発表、ディスカッション、体験学習 (ロールプレイなど)	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	臨床心理学や心理学支援法(基礎)の授業を踏まえることで学習が深まります。		
7. 講義概要	心理学的支援法とは、何らかの援助を求める人(クライアント)に対して、行動変容を目的として、言語的・非言語的なコミュニケーションを道具として援助しようとする試みのことであると考えられがちである。しかし現代社会においては、心理援助を行う者の心構えは(カウンセリング・マインドと言われる)、対クライアントのみならず、地域支援やクライアント関係者、また大学での友人関係や部活動並びに職場や家庭においても「お互いに支えあう人間関係」を築く上で、重要な考え方とあり方を示唆している。そこで、本演習では、カウンセリングの理論と技法を学ぶと共に、より広く訪問支援や地域支援、クライアント関係者支援などの援助についても学び、自分の日常のコミュニケーションのあり方を振り返りながら、相手に寄り添うより適切な援助法を身に付ける。また、守秘義務等のクライアントのプライバシーへの配慮も学ぶ。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現代社会がクライアントの悩みの解決だけでなく、なぜ多くの人々がカウンセリング学習を求めるのか、その背景や理由が理解できる。</li> <li>2. カウンセリングの基礎的な理論や技法である精神分析・来談者中心療法・行動療法を復習した上に、現在の主要な理論となっている認知行動療法(論理療法)を含めたさまざまなカウンセリング理論と技法が理解できる。</li> <li>3. 対クライアント以外の援助技術(訪問支援、地域支援、クライアント関係者への支援等)について理解できる。</li> <li>4. 守秘義務等のクライアントのプライバシーへの配慮について理解できる。</li> <li>5. 受講生がグループ発表を通して、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を高められる。</li> </ol>		
9. アサシメント(宿題)及びレポート課題	教科書で取り扱うページに添ってワークを行うので、シラバスに示された内容について予習を行うこと。また、授業の中で、来談者中心療法に加えて、精神分析、行動療法、認知行動療法などの理論や技法、様々な援助技術についても紹介するので、各自で自習を進めて欲しい。理解の確認のために小テストやワークの提出、及び、授業内レポートを課す。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】長尾 博『やさしく学ぶカウンセリング 26 のレッスン』金子書房, 2008 年		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現代社会がクライアントの悩みの解決だけでなく、なぜ多くの人々がカウンセリング学習を求めるのか、その背景や理由が理解できる。</li> <li>2. カウンセリングの基礎的な理論や技法である精神分析・来談者中心療法・行動療法を復習した上に、現在の主要な理論となっている認知行動療法(論理療法)を含めたさまざまなカウンセリング理論と技法が理解できる。</li> <li>3. 対クライアント以外の援助技術(訪問支援、地域支援、クライアント関係者への支援等)について理解できる。</li> <li>4. 守秘義務等のクライアントのプライバシーへの配慮について理解できる。</li> <li>5. 受講生がグループ発表を通して、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を高められる。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <p>授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。</p> <p>授業への参加(出席、態度、発言) 50%</p> <p>レポート・発表・確認テスト 50%</p> <p>以上で評価を行う。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	心理学的支援法は、スキルを知ったから、ロールプレイをやったからといってすぐに身につくものではありません。この授業をきっかけに、日々の思索や継続的な実践を行うことで、少しずつ身につけて欲しいと考えます。また、心理学的支援に関連する理論や支援方法は、他にも多く存在しますので、皆さん一人一人がそれぞれに興味を深めて自己学習を進め、視点を広げていくことを期待します。		
13. オフィスアワー	別途通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション/レッスンを始める前に	事前学習	教科書を入手し、2-17Pを中心に全体を確認しておく。
		事後学習	提示した課題について、自分の考えをレポートにまとめる。
第2回	ラポール形成のレッスン	事前学習	教科書 20-25Pを確認し、レッスンの目的を理解しておく(レッスン 1-3)。
		事後学習	提示した課題について、自分の考えをレポートにまとめる。
第3回	ことばと非言語によるコミュニケーションのレッスン	事前学習	教科書 26-38Pを確認し、レッスンの目的を理解しておく(レッスン 4-9)。
		事後学習	提示した課題について、自分の考えをレポートにまとめる。
第4回	グループでのロールプレイのレッスン①	事前学習	教科書 39-45Pを確認し、レッスンの目的を理解しておく(レッスン 10-11)。
		事後学習	提示した課題について、自分の考えをレポートにまとめる。

第5回	グループでのロールプレイのレッスン②	事前学習	教科書 39-45P を確認し、レッスンの目的を理解しておく (レッスン 12-13)。
		事後学習	提示した課題について、自分の考えをレポートにまとめる。
第6回	カウンセリングスキルのレッスン① 共感性と純粋性 (1)	事前学習	教科書 46-60P を確認し、レッスンの目的を理解しておく (レッスン 14-15)。
		事後学習	提示した課題について、自分の考えをレポートにまとめる。
第7回	カウンセリングスキルのレッスン② 共感性と純粋性 (2)	事前学習	教科書 48-60P を確認し、レッスンの目的を理解しておく (レッスン 16)。
		事後学習	提示した課題について、自分の考えをレポートにまとめる。
第8回	カウンセリングスキルのレッスン③ 沈黙とリード (1)	事前学習	教科書 60-67P を確認し、レッスンの目的を理解しておく (レッスン 17-18)。
		事後学習	提示した課題について、自分の考えをレポートにまとめる。
第9回	カウンセリングスキルのレッスン④ 沈黙とリード (2)	事前学習	教科書 60-67P を確認し、レッスンの目的を理解しておく (レッスン 19、20)。
		事後学習	提示した課題について、自分の考えをレポートにまとめる。
第10回	カウンセリングスキルのレッスン⑤ くり返し、明確化 (1)	事前学習	教科書、68-70P、70-76P を確認し、レッスンの目的を理解しておく (レッスン 20、21)。
		事後学習	提示した課題について、自分の考えをレポートにまとめる。
第11回	カウンセリングスキルのレッスン⑥ 明確化 (2)	事前学習	教科書 70-76P を確認し、レッスンの目的を理解しておく (レッスン 22)。
		事後学習	提示した課題について、自分の考えをレポートにまとめる。
第12回	カウンセリングスキルのレッスン⑦ 対決と直面 (1)	事前学習	教科書 76-85P を確認し、レッスンの目的を理解しておく (レッスン 23)。
		事後学習	提示した課題について、自分の考えをレポートにまとめる。
第13回	カウンセリングスキルのレッスン⑧ 対決と直面 (2)	事前学習	教科書 76-85P を確認し、レッスンの目的を理解しておく (レッスン 24)。
		事後学習	提示した課題について、自分の考えをレポートにまとめる。
第14回	カウンセリングスキルのレッスン⑨ 支持 (1)	事前学習	教科書 85-93P を確認し、レッスンの目的を理解しておく (レッスン 25)。
		事後学習	提示した課題について、自分の考えをレポートにまとめる。
第15回	カウンセリングスキルのレッスン⑩ 支持 (2)	事前学習	教科書 85-95P を確認し、レッスンの目的を理解しておく (レッスン 26)。
		事後学習	提示した課題について、自分の考えをレポートにまとめる。